八ケ岳スノーハイキング（S治）

メンバー　S治（単独）

2018年3月31日（土） 快晴

鉱泉から見た赤岳

4月末の笈ヶ岳登山に向けて買ってから９年間ほとんど使っていなかった冬靴のソールを張り替えた。また、アイゼンも久しく使っていなかったため、冬靴とアイゼンになれるため、週末を利用して八ヶ岳を歩くことにした。

美濃戸口からの歩き出しは雪が全くなかったので、普段靴で歩き出したが、川を渡る手前で雪が出てきたので、山靴に履き替えた。美濃戸山荘を過ぎたあたりから林道がアイスバーンになり、アイゼンを装着した。小屋について、夕食まで少し時間があったので、赤岳をスケッチしてみた。

2018年4月1日（日） 快晴

中山展望台から阿弥陀岳

今日はゆっくりハイキングのつもりが、アイスクライミング体験会に誘われて、8:30集合だというので、早出して、中山展望台に向かった。アイゼンが効いて、アイゼンの練習に足ごたえを感じる。

中山展望台は、無風快晴で、最高に気持ちがいい。ちょうど阿弥陀岳が朝の斜光を受けて凛々しく見える。でもゆっくりしていられないので、10分ほどで下りだした。

アイスクライミング体験会は、ほんとうは、先週で終わりのはずが、あまりにもキャンセル待ちが多かったため、この日に臨時開催することにしたそうだ。ところが、実際に集まったのは２人だけで、余裕がたっぷりとなったため私がお誘いを受けることになったようだ。

アイスクライミング体験会

体験会は、アイゼンから、アックス、ヘルメット、ハーネスなどすべて貸してくれる。アックスは、メーカーによってまるで手ごたえが違うので、もし購入する場合は 10 種類ぐらいのなかからいろいろ試してみたら気に入ったのが見つかるだろう。

アイスクライミングは見ているよりはるかに難しい。特に足がほんとうに決まっているのか感触がつかめなくて、つい腕に力が入ってしまう。

受講者３人にインストラクターが２人で贅沢な体験会となった。待ち時間がほとんどなく、２ルートで登っていたら、すぐに腕に疲れがきた。まるでボルダリングジムのようだ。ややゆるい傾斜のルートを４回登って、だいたいわかったところで垂壁に挑戦した。垂壁は格段に難しいというよりこわい。予定より 30 分早く、体験会は終了した。

下山は、T 貴さんほか常連の方々と一緒だった。とても速い。普段の半分の時間で堰堤まで下った。

コースタイム
3 月 31 日
美濃戸口(13:00)～赤岳山荘(14:30)～堰堤(15:50)～赤岳鉱泉(17:00)

4 月 1 日
赤岳鉱泉(6:50)～中山展望台(7:40)～赤岳鉱泉(8:10– 13:15)～堰堤(13:50)